

古中だより「坂道」

くめざす生徒像>

(知) 自ら学ぶ生徒

(徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒

(体) 心身ともに健康な生徒

令和3年度 第31号

3月23日 発行

古殿町立古殿中学校校長 上野 康生

~1年間の課程を修了、進級に向けての心構えを!~

204日間の授業日を終え、本日修了式が行われました。1年間、**生徒が大きな事故や怪我なく過ごすことができたことを何より嬉しく思います**。また、新型コロナウイルスの感染拡大がありましたが、保護者の皆様のご協力により、**1日も臨時休業をすることなく本日を迎えることができました**。本当にありがとうございました。



いよいよ、4月からは1年生は中堅学年に、そして2年生は最上級生になり、 学校を引っ張っていく立場になります。また、4月6日に入学する新入生に良 き手本を示す存在となることにも大きな期待を寄せています。

そこで、校長式辞では1年間の振り返りや進級に向けた心構えとして以下のような話をしました。本日、 お子様に渡しました通知票と併せて、お子様と一緒に1年間の振り返りをしていただければ幸いです。

<1年間の振り返り>

- 学習や係活動、部活動などに一生懸命取り組み、**自分自身の成長を実感している生徒**が多いと思います。
- 1年生は入学当初、授業や生活の様子を見て心配することが多々ありました。しかし、徐々に中学生としての自覚が高まり、1学期後半あたりからは授業に臨む姿勢などが大変よくなりました。また、2泊3日のブリティッシュヒルズ研修を通して、集団生活のルールを守るという意識が高まり、落ち着いた生活ができるようになりました。学年として大きく成長できた1年間でした。
- 2年生はいつ授業を見に行っても、全員が集中して学習に励んでいる姿が印象に残っています。また、2学期には職場体験学習を通して働くことの意義や責任感についての理解が深まり、学校での係活動等にも一生懸命取り組んでいることはすばらしいです。そして、先日は卒業生へ「一貫張り」のプレゼント、そして感謝のメッセージやエールを贈ってくれました。本当にありがとうございました。
 <進級に向けた心構え>
 - 皆勤賞や精勤賞で頑張った生徒が大勢います。本当に立派なことです。 一方で学校を休む生徒も多かったと感じています。やむを得ない理由で の欠席は仕方ないのですが、中には「○○の授業が嫌だな」、「テストが あるから嫌だな」、「友だちとちょっと嫌なことがあったから」といった 理由で学校を休んでしまったケースもあるようで・・・。

これからの人生において、嫌なことから逃げてばかりでは豊かな人生 を送ることはできません。ちょっと辛いことにも正面から立ち向かい自 分の力で解決しようとする姿が、周囲の信頼を集め、困ったときに助け



となってくれることも多くあります。また、学校を1日休むということは、6時間分の授業を受けなかったことになりますし、友だちや先生方と触れ合う貴重な機会も失うことになります。それが何日も休むことになれば、とても大きなものを失うことになってしまいます。来年は欠席する生徒が少なく、皆が元気に登校することを願っています。

○ これまでに何度も話題にしている「あいさつ」についてです。私はほぼ毎朝、学校下の横断歩道で多くの生徒とあいさつを交わしています。最近感じていることは、3年生が卒業した後、元気にあいさつをする生徒が少なくなってしまったということです。あいさつは、独り言ではなく、相手とのコミュニケーション活動です。つまり、相手と気持ちを通じ合わせる活動なのです。相手と目を合わせて、相手に聞こえるように声を出す。このことはあいさつの基本中の基本ですし、そうすることによってお互いに気持ちよく生活することができます。あいさつは古中にとって大切な伝統であり、今年の卒業生をはじめ、これまでの先輩方がずっと大切に受け継ぎ、引き継いできたものです。地域はもとより、他の地域からも「あいさつの古中」として褒めていただいたり期待されたりしています。どうか「あいさつの古中」の名に恥じない立派なあいさつを心がけ、新入生にも皆さんが行動で手本を示してほしいと思います。

~ 1年間ありがとうございました ~

昨年4月に校長として着任し、早いものでもう1年が経とうとしています。嬉しいこと、楽しいこと、感動することがたくさんあり、充実した毎日を送ることができました。もちろん、悲しいこと、残念なこと、悔しいこともありましたが、生徒の皆さん、保護者や地域の皆様、そして教職員に支えられ乗り越えることができました。また、これまでの教員生活で「〇〇通信」といったお便りはそれほど作る機会はなかったのですが、この『古中だより「坂道」』を不定期ではありますが31回発行し、学校の様子や校長としての考えをお伝えしてきました。毎回、読んでいただきありがとうございます。

教職員一同、来年度もお子さんの更なる成長をめざして精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。